

職員による自己評価

A環境面

階段昇降時に下に支援者がいるなど、日々のリスクに対して改善を重ねた。
事業所スペースを特性に合わせて毎日変えている。

B児童への支援内容

児童から提案された活動案も積極的に取れ入れた。
活動にマンネリ化の無いよう努める反面、コスト面に課題を感じることもあるが、できる手段を常に考えて模索している。

C関係機関との連携

必要に応じてケース会議等実施。
連絡会も現場スタッフの参加を増やしていきたい。

D保護者への説明責任・信頼関係

送迎の際にどのように過ごしていたかを毎回お伝えし、連絡帳にも記載。

E非常対応

トラブル、イレギュラー時に課題。
対応する者・他に気を配る者とすぐに分かれ機転を利かせられる体制づくり。

保護者による評価

A環境面

所内の様子はよくわからないが、細かな支援で安心している。

B児童への支援内容

常に工夫を凝らしてくださっている。
本人の意思も尊重してくれている。

C事業所からの情報発信

お便りをいつも楽しみにしている。

D非常対応

忘れ物・入れ違い等あるが迅速に丁寧に対応頂いている。

事業所内での分析

【共通点】

活動の工夫や充実した支援の提供に努められている。

【相違点】

非常対応で評価を頂けていたが、全スタッフの対応が同じになるよう改善を重ねていかないと感じた。
楽しい活動だけではなく、そこに質の高い支援もされていなければならないと感じる。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・幅広い活動の提供
- ・課題に対して常に改善を重ねている。

事業所の改善点

- ・イレギュラーに対するの統率力
- ・想定される物事に対するの準備力

事業所の改善への取り組み

- ・活動の充実と支援員個々のスキルアップ
- ・何が起きても全てのスタッフが対応できるように PDCA の活用。
- ・リスクマネジメント委員会の実施回数を増やす。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ご利用くださっているご利用者様、関わってくださる皆様からのご要望が今の事業所に求められる全てだと感じ、それは時代の価値観と共に常に変わり続けるものだと強く感じました。
- 頂いたお言葉をありがたく頂戴するとともに、現状に満足せず常に指導員一人一人が個を磨ける環境作りに努めて参ります。

事業所名 E-NE CREATE 北新横浜

担当者 萩原 康史